

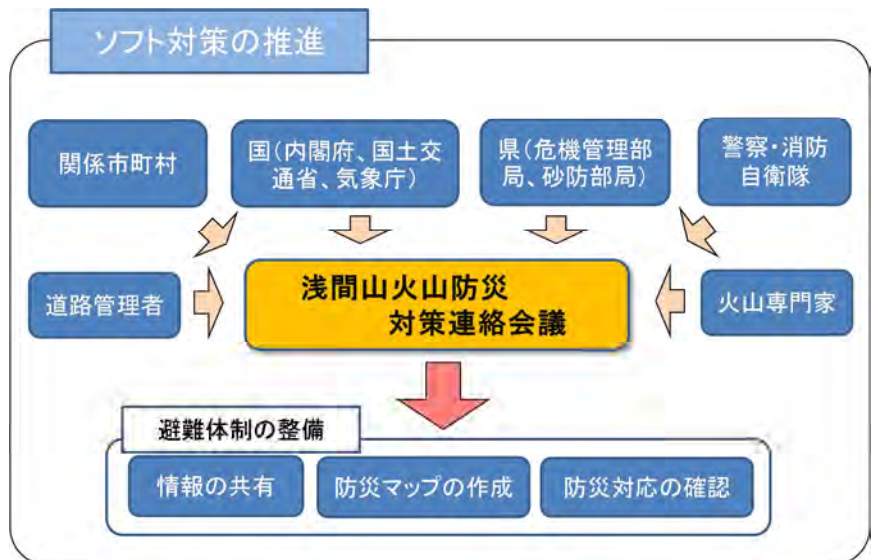
火山噴火対策

(9) ハード・ソフト両面からの火山噴火対策

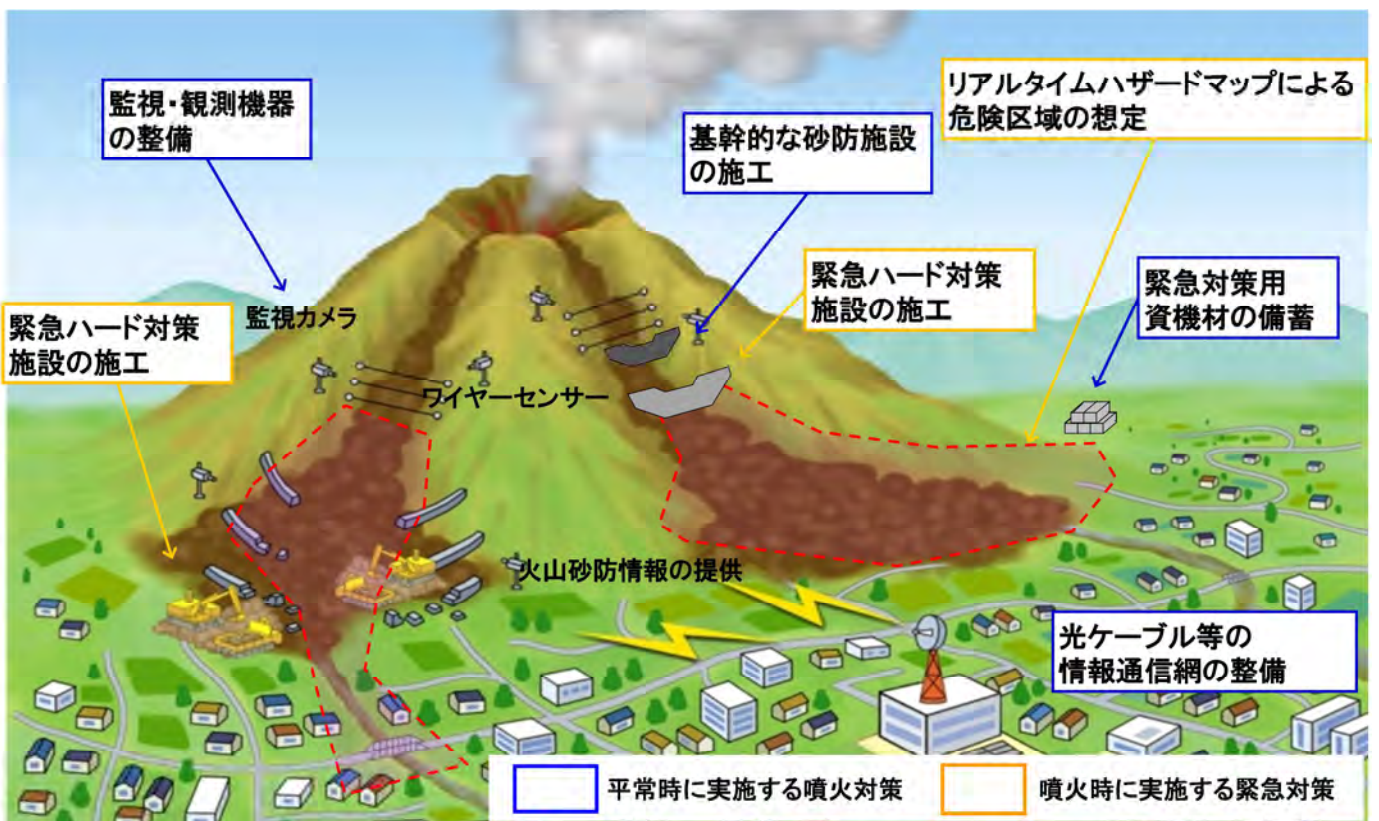
本県は、浅間山、草津白根山の2つの活動的な火山を有しており、噴火した場合は本県のみならず広範囲に甚大な被害を及ぼすことが予測されます。特に浅間山の活動は活発であり、これまで、国・県・市町村などで構成する「浅間山火山防災対策連絡会議」において、監視カメラの活用や避難体制の整備、図上訓練の実施などの人命を守る避難措置等を講じてきたところです。居住区域に被害を及ぼす可能性がある警戒レベルに対応する火山噴火対策について、上記連絡会議において検討を進めています。

大きな災害が発生する可能性がある浅間山の噴火対策について、ハード・ソフト両面からの対策が必要となっています。

平成24年度から浅間山直轄火山砂防事業によるハード対策に着手するとともに、国・関係市町村等との連携による情報共有・避難体制の強化などのソフト対策を推進し、可能な対策を実施していきます。



図表-65 人命を守るための関係機関による避難体制整備



図表-66 火山噴火に伴う土砂災害をできるだけ軽減するための対策(イメージ)「国土交通省資料」

(10) 通学路の優先的歩道整備

通学路をはじめとする道路の交通安全に関しては、これまでも関係機関や地域住民等と連携しながら道路交通環境の整備を行ってきたところですが、近年、登下校中の児童等の列に自動車が突入し、死傷者が多数発生する痛ましい事故が相次いでいます。

このような状況を踏まえ、児童や園児が安全・安心に歩けるよう通学路を優先的に整備していきます。また、通学路以外については、歩行者数の多い箇所、歩道のボトルネック箇所、歩行者交通事故件数が多い箇所等を優先的に整備していきます。

評価項目	重要度		
	大	小	
通学路指定	↑	法指定 緊急合同点検箇所 学校指定	↑
歩行者数		200人以上	↑
		100人以上	
		50人以上	
		25人以上	
		25人未満	
歩道の不連続		ボトルネック箇所	
歩行者交通事故		5件以上	↑
		3件以上	
		1件以上	
自動車交通量		1万台以上	↑
		5千台以上	
		5千台未満	

図表-67 歩道整備の優先の考え方

(11) きめ細やかな交通安全対策

人口10万人当たりの交通事故件数は、全国5位となっており、全国平均より約1.7倍も多いため、子どもや高齢者の事故の未然防止に向けて交通安全教室などのソフト対策を推進します。

高校生は自転車事故に占める割合が高いことから、自転車安全教室を実施し、交通安全ルール・マナーの向上を図るとともに、将来の運転者教育の基礎を養う取り組みを実施します。

また、近年、高齢者が被害者となる事故だけでなく、加害者となる事故が増加していることから、運転機能の低下を再認識してもらう体験型の交通安全教育を推進するとともに、運転技能を補う「安全運転支援システム」などの導入・拡充を推進する要望を国や関係団体へ働きかけています。

死傷者事故が多発している箇所では、道路管理者や交通管理者が現地診断を行い、対策方法を検討・実施することにより、交通事故を低減させるハード整備などを行います。

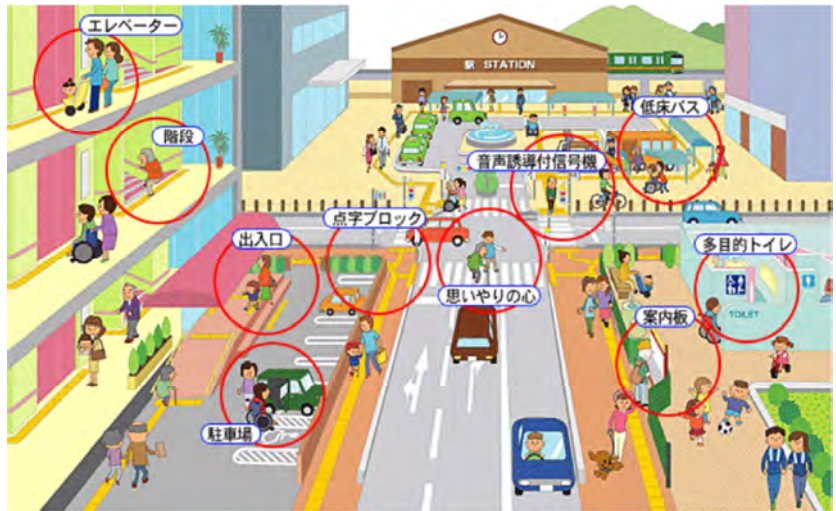


図表-68 自転車安全教室の状況

(12) 社会資本等のバリアフリー化

高齢者や障害者だけでなく、全ての人が安全で安心して暮らし、社会参加できる生活空間の形成がますます重要となっています。

そこで、全ての人が円滑に利用できるよう歩道のバリアフリー化をはじめ、駅やバスについても、バリアフリー化を進めます。



図表-69 バリアフリー化のイメージ

①歩道のバリアフリー化

歩道の段差は歩きにくさの原因となるため、横断歩道部で歩道と車道との段差を0cmとし、視覚障害者が車道との区別を認識できるように突起を設けます。

また、視覚障害者が横断歩道等を認識できるよう、歩道に視覚障害者誘導用ブロックの設置を行います。



図表-70 歩道のバリアフリー化の状況

②公共交通のバリアフリー化

これまで、1日の平均利用者数が5,000人以上の鉄道駅をバリアフリー化の対象としていましたが、バリアフリー法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）の改正に伴い、高齢者や障害者等のさらなる利便性の向上を図るため、3,000人以上の鉄道駅についても、バリアフリー化を促進します。鉄道駅のバリアフリー化対策としては、①段差解消、②視覚障害者誘導用ブロックの設置、③高齢者・障害者等に対応したトイレの設置を行います。

また、乗合バスについても、ノンステップバスなどを導入するようバス事業者や市町村を財政支援し、対応車両の増車を促進します。



段差解消（エレベーター設置）



視覚障害者誘導用ブロック設置



高齢者・障害者等対応トイレの設置

図表-71 鉄道駅のバリアフリー化対策例